



医療系大学における図書館

医学部附属フロンティア医学研究所 組織再生学部門

教授 三高 俊広

書店で本を探すのが好きである。通勤時に読むものなので小説などが対象である。本を手にとって選ぶプロセスが楽しい。本を手に取り、カバーの粗筋や帯を読み、見比べて何冊か選ぶのが良い。ネットで買うのは目的があって探している本、多くは仕事に関係するか書店に置いていなさそうなものに限られる。同じ日本語を読むのでも、紙に印刷しているものと画面上の文字では、脳での認識に違いがあるのだろう。画面を見続けると目がとても疲れるし、肩が凝る。同じ姿勢で長時間過ごすのはつらい。必然、論文を読むときでも印刷してから読むことが多いのだが、文章をコピーしたり、加工したりするには電子データは便利であるので、仕事では画面上で読むことも多い。

インターネットが発達し情報の入手方法が激変した現代と一昔前とでは、大学と公共の図書館とに求められる役割が乖離してきたのではないだろうか。公共の図書館を利用する人の多くは、書店と同様に本を自由に選び読むことを目的としている。一方、医大図書館の利用者は、目的の本や文献を探すためか、試験勉強やレポートを作成するために来る。専門書は、図書館より講座の図書室の方が充実しているので、教員や研究者が本を探しに来ることはほぼない。残念なことではあるが、専門書が網羅的に在庫整備されていないことを知っているからである。加えて、ほとんどの文献は自席のPCで検索可能であり、全編を見ることは出来なくともアブストラクトは見られる。責任著者に論文別刷りの送付を依頼すれば、PDFファイルで文献は入手できる。郵送料もかからないので気楽にお願いできる。図書館に足を運ぶ理由がないのである。インターネットをストレスなく24時間いつでも使えるのは、情報センターをこれまで整備してきた大学とバックヤードで情報システムを支えている人達の御陰であるのは云うまでもない。従って、教員・研究者に必要なのはバーチャル図書館であり、自席でコーヒーを飲みながらでも必要な資料をストレスなく探し出せる環境である。つまり、大学ホームページ上の図書館がとても重要になってくる。画面からすぐに閲覧出来るように、例えば、札幌医学雑誌を含めて開学以来の大学刊行物を電子ブックとして並べて置く。気になる本のページをちょっとめくってみると、懐かしい先生の写真があつたりする。埃を払うこともない、バーチャル図書館ならではの楽しみではないだろうか。

一方、リアルな図書館を必要としているのは学生であろう。これからの施設としての図書館は、“学生が良き医療従事者になるために必要な知が得られる場”になるのが良いのではないだろうか。“学生が求めるもの”と“大学が学生に求めるもの”を融合する場、静かに自習することの出来る環境を維持しながら、確かな基礎知識が系統的に得られるように教科書と映像を連動して学べる場である。バーチャルな実習が出来るような場の提供も図書館の役割かもしれない。これからの大学図書館のあるべき姿を考える時機が来ているのではないだろうか。

Visible Body がモバイル端末からアクセスできるようになりました！

Visible Body は iPhone や iPad, Android などのモバイル端末からご利用できます。ご使用前にアプリをダウンロードし、札医大の Wi-Fi で認証を行う必要がありますので、手順を説明いたします。



①下記の URL か QR コードでアクセスしてください。

※必ず札医大の専用サイトを經由してアクセスしてください。

<http://access.ovid.com/custom/sap999/>



②必要なアプリを該当のストアからダウンロードする。

※アプリはメニューごとにダウンロードする。

※容量が大きいため、ダウンロードに時間がかかります。



③インストール後、ロックを解除するために、**大学内で WiFi に接続**してください。

1. インストールしたアプリを開く
2. Username, Password には何も入力せず、「I don't have a user name and password」をタップする。
3. 「Try Again」をタップする。

④学内 WiFi から認証確認後 90 日間はオフラインでも利用可能です。

認証期限前に、学内 WiFi に接続し、再認証を行ってください。

今春、転入された職員及び新入生の皆さんへのお知らせ

当センターは、図書館部門とネットワーク部門が連携しながら、学内のみならず北海道内の医療従事者の皆様に学術情報を提供していますが、図書館の特長とネットワークを快適に利用するためのポイントを紹介します。

1. 図書館の特長

- (1) 本学教職員、学生及び卒業生に対し、土日祝日を含む 24 時間開館を行っています。
- (2) 文献検索から原本入手までを自分のパソコンで完結できるシステムを提供しています。
- (3) 学生から研究者まで、その用途に応じた様々な電子ツールを提供しています。
- (4) 学術専門書以外に一般教養書や小説などもあります。

2. ネットワーク利用時におけるチェックポイント

今日、個人情報に関する漏洩事件がマスコミ報道されており、自分自身がその当事者にならないように日頃から次の点に留意してネットワークを利用しましょう。

- (1) パソコンの修正プログラムを適用し、常に最新のバージョンに更新する。
- (2) セキュリティソフトの導入および定義ファイルを常に最新にする。
- (3) パスワードの管理を徹底する。
- (4) 不審なメールの添付ファイルはクリックしない。絶対、返信しない。
- (5) フリーソフトは勝手にインストールしない。
- (6) 個人情報等の入った PC・USB メモリ等を所属長の許可なく学外に持ち出さない。
- (7) twitter、Facebook などの SNS に個人情報等を投稿しない。
- (8) 映像や音楽等のファイル交換を目的としたソフトウェアは違法であり、感染や情報漏洩の危険性が高いので利用しない。



この文献、電子ジャーナルで利用できないのかな？

電子ジャーナルに関する質問で多く寄せられる内容に目的とする文献や学術誌が電子ジャーナルで利用できるかがあります。本学では包括契約コンソーシアムをはじめとする有償契約 5,079 誌のほか、オープンアクセス誌を含めると約 55,000 誌の電子ジャーナルが利用できるとともに、これらの電子ジャーナルを効率良く利用するためにさまざまな工夫が行われています。ここでは目的とする文献や学術誌を効率良く入手する方法についてご紹介させていただきます。

1. PubMed や医中誌 Web からの利用法

PubMed や医中誌 Web など本学で利用できる文献データベースの検索結果文献にエンジ色の「PIRKA sapmed@SFX」のリンクアイコンが表示されます。クリックすると本学システムが中間窓で起動され、当該文献に対する各種サービスメニューが表示されます。電子ジャーナルが利用できる場合は、「ベーシックサービス」タブ内のフルテキスト欄に相手先システム名、掲載巻号、ページが表示されますので、「Go」ボタンをクリックしてください（図1）。本学システムが直接当該論文まで誘導を行います。



図1. PIRKA sapmed@SFX サービスメニュー

2 誌名検索による利用

誌名検索による利用には「学内蔵書検索：Web OPAC」と「電子ジャーナル検索 (SFX AtoZ)」(図2)の2通りの方法があります。いずれも当センター・ホームページのトップ画面右に配置されている検索窓から行うことができ、検索結果として、誌名、利用可能な巻号年、当該誌への URL リンクを表示します。なお、「電子ジャーナル検索(SFX AtoZ)」はオープンアクセス誌を含めた約 55,000 誌が検索できるのに対し、学内蔵書検索：Web OPAC」は本学有償契約誌 5,079 誌のみを対象としていますのでご注意ください。



図2 電子ジャーナル (A to Z)

本学で利用可能な電子ジャーナルの利用法について簡単にご説明しました。電子ジャーナルは地理的にも時間的にも制約されず、また EndNote や Mendeley などの文献管理ソフトを使うことにより、論文情報とも一括して管理し、論文執筆の際に利活用できる利点があります。しかし、他面において一定時間内の大量ダウンロードや特定の学術誌を初号から収集するなどの利用は契約上禁止されており、悪質と判断された場合、出版者側から大学全体の利用を停止される場合があります。ご利用の際には、必要とする文献を都度ダウ

ンロードするなど節度ある利用を心がけ、活用いただきますようお願いいたします。

(担当：図書係、内線 24160)

ホット！「PPV の私費扱いについて」

本学では年間契約誌 5,079 誌のほか、エルゼビア社発行誌について公費による論文都度払い購入 (PPV) を平成 28 年度より実施していますが、来たる 7 月 1 日より学外文献複写サービス同様、私費扱いを開始する予定で準備を進めています。詳細につきましては、準備が整い次第、当センター・ホームページでご案内いたしますので、もしばらくお待ちください。

〔エルゼビア社 PPV ご利用方法〕

<https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/internal/2395/>

情報センター主催講習会のご案内

情報センターでは、教育・研究用データベースの講習会を次のとおり開催する予定です。詳細は、開催近日に情報センターHPや掲示でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

10月は、学術論文の被引用により影響力の高い研究データを集積したデータベース「Web of Science」や、あらゆる分野の研究業績に関する統計情報と動向データを集積したデータベース「InCites Essential Science Indicators」の講習会を行う予定です。

また、学部学生を対象に情報セキュリティ講習会を行っています。

ネット社会に潜むウィルス等の危険性や、それを未然に防ぐ方法について、専門の講師が解説いたします。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
講習会	●助産学専攻科セキュリティセミナー（6月12日） ●保健医療学部1年生セキュリティ講習会（6月26日）				●Web of Science講習会 ●InCites Essential Science Indicators講習会		

※詳しい日時は、HPや掲示でお知らせします。

■図書館からのお知らせ

7月より、夏季開館時間の短縮と、夏期図書長期貸出が始まります。詳細は、HPや掲示でお知らせいたします。

講座秘書さんのための文献検索入門

先生から文献複写依頼を頼まれた際に、効率よく作業が出来るよう解説します。

所要時間：約30分

開催：毎週月、木曜日（お申し込み後に調整）

お申込み：情報センターHP右上の「contact」から「講座、教室秘書向け文献検索講習会」のフォームでお申し込みください。



◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス（カウンター）
学内所属員の文献複写依頼に関すること	24180	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	24170	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関すること	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LANへの機器接続に関すること	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24130	konno@sapmed.ac.jp	主任司書

誌名「Barks（パークス）」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮（liber）」の英訳です。

パークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpv/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp